

セルフレベリング材としての性能			
項目	結果	建築工事標準仕様書 JASS15 M-103	
比重	スラリー	2.08kg/ℓ	—
	硬化体	1.98kg/ℓ	
フロー値	220mm	190mm以上	
圧縮強度	材齢7日	33.4N/mm ²	—
	材齢28日	42.3N/mm ²	
曲げ強度	材齢7日	6.5N/mm ²	—
	材齢28日	8.1N/mm ²	
凝結時間	始発	1時間00分	45分以上
	終結	1時間06分	20時間以内
下地接着強度	材齢14日	3.2N/mm ²	0.7N/mm ² 以上
表面接着強度	材齢14日	3.6N/mm ²	0.5N/mm ² 以上
長さ変化	材齢28日	0.04%	0.12%以下
耐衝撃性	割れはがれ	なし	なし

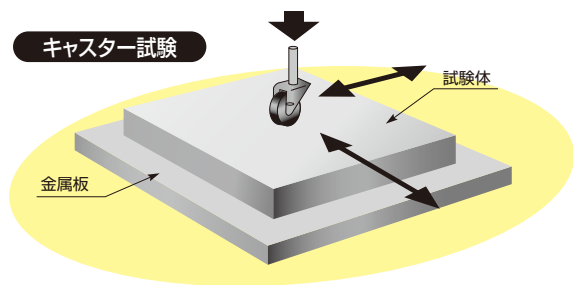
注)上記のデータは、建築工事標準仕様書・同解説 JASS15 M-103(セルフレベリング材の品質規準)に規定する試験方法に従って測定した自社試験結果です。

素地SL材としての性能 (表面の耐摩耗性)			
項目	結果	JASS15 M-103(素地SL材)	
摩耗深さ ¹⁾	タフレベラー-Gプラス	0.10mm	0.10mm
	コンクリート仕上げ	0.36mm	—

- JIS K 7204(摩耗輪によるプラスチックの摩耗試験方法)に準拠して摩耗深さを測定。回転数:2000回転(但し、コンクリート仕上げは1000回転のデータ) 摩耗輪GC150H、荷重250g
- 気中養生:20℃、RH65%
- 促進耐摩耗試験機メタリングウエザーマーターにて、放射照度0.53kW/m²の紫外線を連続照射(10年相当)

塗り床下地としての性能 (表面強度)			
項目	結果	塗り床ハンドブック	
塗り床材との接着試験 ⁴⁾	材齢1日	3.5N/mm ²	1.5以上
	材齢7日	4.5N/mm ²	
引っかかり試験 ⁴⁾	材齢7日	0.25mm	0.3以下が望ましい
キャスト試験 ⁵⁾	タフレベラー-Gプラス	0.4mm	—
	汎用SL材	3.6mm	
	エポキシ系塗床厚膜工法	0.5mm	

- 接着試験、および引っかかり試験のデータは、塗り床ハンドブック(日本塗り床工業会)に規定する試験方法によって測定した自社試験結果。
- 試験方法は、JIS A 1454「高分子系張り床材試験方法」に規定のキャスト試験(重荷重法)に準拠し、SL材表面へキャストを直接走行させる条件で、表面の凹み深さを測定。キャスト試験条件:キャスト(スチール製 φ125mmx40mm)、荷重2000N(約200kgf)、10,000サイクル



①袋物

25kg紙袋(ポリ内袋)		
混練水量	1袋あたり5.5ℓ	
施工面積の目安	20mm厚	約0.7㎡
	10mm厚	約1.5㎡

②スラリー販売

●専用ローリー車

車両タイプ	10t	8t
通行許可証区分	大型	大型
長さ	830cm	637cm
車幅	249cm	232cm
車高	322cm	316cm
最大積載量	4.0㎡/約7,000kg	3.0㎡/約5,200kg
混練圧送能力	圧送高さ	30mまで(高の目安マシヨ10m程度)
	圧送能力	100mまで(高さも含む)
	混練能力	約3.5㎡/時間
		約2.5㎡/時間

※年式・車種により多少の差異がありますので、詳細についてはご相談ください。



⚠注意

製造日より2ヶ月以内に使用してください。

- 貯蔵保管はセメントに準じて湿気を避けてください。
- セメント、珪砂等、他の材料を加えないでください。
- 気温5℃以下の施工は避けてください。

- 取り扱いの際には手袋、長靴、保護メガネ、防護マスク等の保護具を着用してください。
- 吸入した場合:新鮮な空気の場所へ移動し、水又は温水でうがいをしてください。
- 目に入った場合:清潔な水で15分以上目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受けてください。
- 皮膚に付着した場合:汚れた衣服や靴を脱ぎ、付着した部分を水又はぬるま湯で洗い流してください。
- 飲み込んだ場合:水で口の中を洗い、直ちに医師の診断を受けてください。

本カタログ記載内容についての注意事項

- ◆本カタログの記載内容は、予告無しに仕様や記載事項を変更する場合がありますので、予めご了承願います。
- ◆本カタログ記載の性能、物性等の諸データ値は、弊社実験による測定値であり、その数値、性能を保証するものではありません。
- ◆製品の性能は、環境条件や使用方法等により本カタログ記載内容と異なることがあります。事前に使用目的に応じた施工テストを行い、製品の適合性と安全性を確認してください。

日本建築仕上材工業会登録

登録番号	1604017
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

- 東京支店 〒105-0023 東京都港区芝浦1丁目2番3号 シーパンス館10階 TEL 03-5419-6205
 大阪支店 〒541-0042 大阪府中央区今橋3-3-13 ニッセイ淀屋橋イースト5階 TEL 06-4309-5826
 名古屋支店 〒461-0005 名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル18階 TEL 052-961-1375
 広島支店 〒730-0031 広島市中区紙屋町2-1-22 (広島興銀ビル) TEL 082-244-7234
 九州支店 〒810-0001 福岡市中央区天神1-2-12 (メットライフ天神ビル8F) TEL 092-781-2309
 東北営業所 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-2-3 (鹿島広業ビル) TEL 022-262-6235
 札幌営業所 〒007-0801 札幌市東区東苗穂一条1-2-4 4 TEL 011-784-8183

販売取扱店

高性能セルフレベリング材



高強度・超速硬型 セメント系セルフレベリング材

タフレベラー-G^{プラス}

地域限定販売品

F☆☆☆☆ 適合商品

(NSK自主表示制度に基づく表示)

JASS15 M-103 適合品
 国土交通省告示第1372号適合品
 タフレベラー-Gは宇部興産建材株式の登録商標です



宇部興産建材株式会社

建材営業部

〒105-0023 東京都港区芝浦1丁目2番3号シーパンス館10階
 TEL(03)5419-6205 FAX(03)5419-6269

https://www2.mu-cc.com/ubekenzai/



宇部興産建材株式会社

タフレベラー-G^{プラス}は、重荷重が作用する床下地へ適用できる高性能セメント系セルフレベリング材です。 SLスラリー供給システムと超速硬性の材料特性との組合せにより、短時間で広面積の施工が可能となり、大幅な工期短縮が図れます。

特長

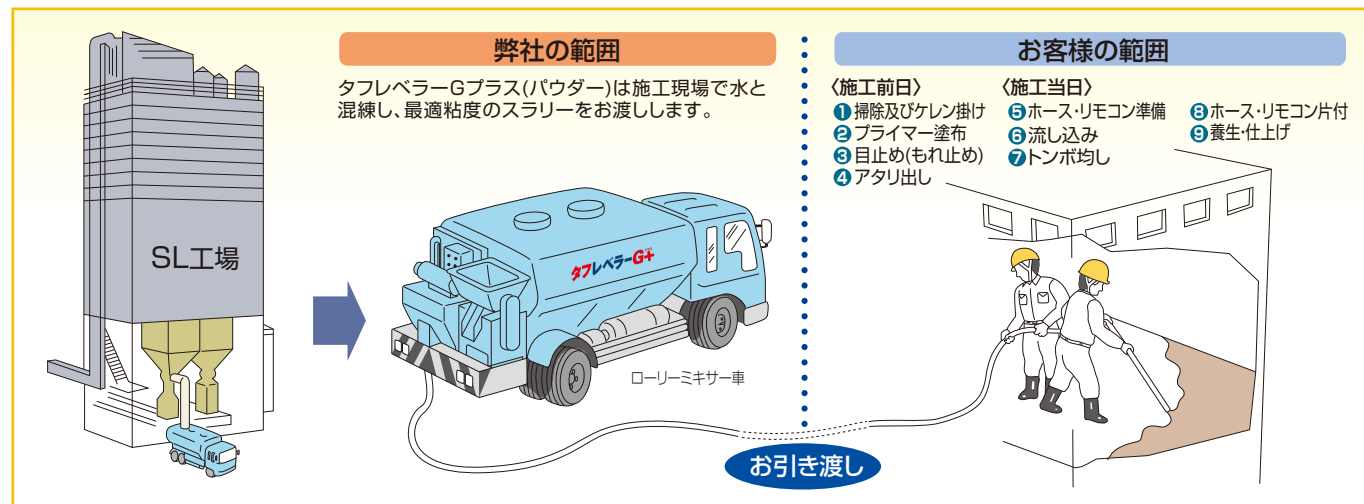
- 強度(表面硬度)発現性** 高強度化(圧縮強度42N/mm²)・耐摩耗性の向上により、耐荷重床下地への適用が可能となりました。
- 速硬性・速乾性** 弊社速硬型SL材のラインナップの中でも最も速硬・速乾であり、標準期において施工後2時間での軽歩行、翌日の仕上げ材施工が可能です。
- 寸法安定性** セメント系材料の弱点である収縮率を規格値の1/3とした超低収縮SL材です。
- 適用仕上げ材の多様化** 塗り床材、張物など多種仕上げ材への適用が可能です。素地仕上げにも使用可能です。(但し、使用方法をご確認ください。)
- 耐久性向上** 従来のタフレベラーGに比べて、表面強度の耐久性が一段と向上しました。

用途

- 工場、倉庫、駐車場、病院オペ室など重量物が作用する床下地工事
- 店舗などの緊急床下地工事
- 塗り床仕上げの床下地工事
- 各種タイル仕上げの床下地工事
- 新築・改築の床下地工事全般
- 駐輪場などの素地仕上げ工事
- 増打ちなどの床かぶり補修工事

※タフレベラーGプラスは屋内使用専用です。

SLスラリー供給システム



施工方法

施工計画

施工厚、施工面積、施工回数、施工場所(ローリー車の場合、ホース長・階高)の調査を行い、ローリー車または袋物の選定を行ってください。材料の可使時間とスラリー供給量との関係を考慮して、流し込み順序、堰の設置などの施工方法について、事前に充分ご検討ください。なお、袋物の場合は、使用ミキサの選定、1バッチ当りの練混ぜ袋数の検討も同時に実施してください。

使用方法

※詳しくは、別紙施工要領書を御覧ください。

① 下地処理

- 作業に入る前に、以下の点に充分注意し調整してください。
- 雨打たれなどのコンクリート表面の脆弱部分は、取除いてください。
 - 改修工事で張物の接着剤が残っている場合は、取除いてください。
 - 床面に油などのシミがある場合には、削り取ってください。
 - 壁との境界部や、下地に隙間がある場合には、モルタル等で漏れ止めを行ってください。

② プライマー処理

- 床面全体を、掃除機などで十分に清掃し、ホコリを取除いてください。
- 原則として施工前日に、UプライマーGIIの希釈液をデッキブラシ・ハケ等で擦り込むように所定量(下表参照)を充分塗布してください。**プライマー処理には専用のUプライマーGIIを必ずご使用ください。**
- 雨打たれなど下地への吸水が大きく、気泡発生が多い下地については、プライマーを2回塗布してください。
- プライマーが乾燥していることを確認後、タフレベラーGプラスの流し込みを行ってください。

コンクリート・モルタル下地状況	プライマー濃度・塗布回数	塗布量 (m ² /缶)
金ゴテ押さえ	3倍希釈液	—
木ゴテ押え、研削床下地	6倍希釈液	4倍希釈液
雨打たれ下地	6倍希釈液	4倍希釈液

※雨打たれ下地など気泡発生懸念がある場合、事前のテスト施工をお勧めいたします。

③ 混練(袋物)

- 混練水量は、水道水5.5リットルを厳守してください。
- 混練には、高速回転のハンドミキサー(600回転/分以上)または、SL専用ミキサーを使用してください。
- 混練は、所定のミキサーで必ず3分間攪拌してください。

④ 流し込み

- 墨やアタリを目印に、均等に流し込んでください。
- 流し込み後、速やか(トンボまたは土間専用コテ)で均してください。
- 速硬タイプで閉塞の危険性があるため、長時間のポンプ圧送中断の回避、施工終了後のホースの早期片付け(20分以内厳守)に留意してください。

⑤ 養生・打ち継ぎ・補修

- 打ち継ぎは15分以内に行ってください。
- 硬化するまでは、窓を閉め、急激な乾燥を避けてください。
- 速硬タイプのため軽歩行可能時間直後に打ち継ぎ部の処理を行ってください。※1時間以降は硬化が進行し、補修が困難になります。
- 硬化後は窓を開け乾燥させてください。
- 仕上材の施工に際しては、乾燥状況を十分に確認してください。
- 季節の変わり目等、環境温度が大きく変動した場合や、施工条件によっては、硬化後、白華が発生することがあります。
- 白華が発生した場合は、乾燥後ポリッシャー等で取り除いてください。

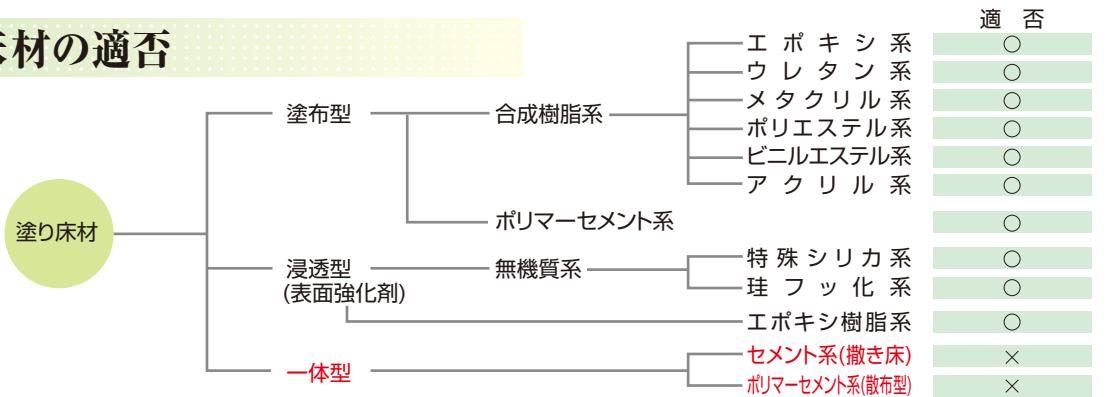
⑥ 素地仕上げとして使用する際の注意

- 構造的な目地や、下地クラックには追従する可能性があります。
- 気泡跡や色ムラおよび表層のヘアクラックは避けられません。

⑦ その他

- 屋外や常時水のかかる箇所は施工できません。
- 下地コンクリートは打設後1ヶ月以上養生してください
- プライマーの塗布やSL材の施工は、気温5℃以下では行わないでください。プライマー塗布からSL材の硬化までに気温が5℃以下になると考えられる場合は、適切な採暖を行ってください。
- 塗り床の施工は、塗り床ハンドブック(日本塗り床工業会)に従って実施してください。特にSL材表面の目粗し(サンドペーパー等)、塗り床用プライマーの塗布は必ず行ってください。
- 塗り床材特殊仕様(塗厚大、下地条件有など)の適用可否、特殊な下地、用途などご不明な点については、弊社にお問い合わせください。
- 素地仕上げ、耐荷重シート下地、断面修復用として使用される場合は弊社に御相談ください。

塗り床材の適否



【施工事例】

